AudioComm®

取扱説明書
保証書付

2.1chマルチメディアスピーカー
型番：ASP-110N　品番：03-3110

このたびは、AudioComm® 2.1ch マルチメディアスピーカーを
お買い上げいただき、誠にありがとうございました。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。
本機の性能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、
ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、
ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

目　次

免責事項…… 1
安全上のご注意 …… 1～3
各部の名称…… 3
接続・設置のしかた …… 4
操作のしかた …… 5
故障かなと思ったら …… 6
主な仕様…… 6
お手入れ方法…… 6
保証書とアフターサービスについて …… 6
保証書……裏表紙

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- ●弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- ●本製品によって生じたデータの消失または破損
- ●本製品のために費やした時間および経費
- ●本製品を運用した結果もたらされた損害
- ●本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果および利益の損失
- ●本製品をご使用になって生じたあらゆる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

⚠ 危険	この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

	△記号は、注意（危険、警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。（左図の場合は感電注意が描かれています。）
	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。（左図の場合は分解禁止が描かれています。）
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。（左図の場合は、ACアダプターをコンセントから抜く、が描かれています。）

⚠ 警告

コンセントから抜く	**万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに本機の電源を切り、必ず電源コードをコンセントから抜く** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。 ●煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。	接触禁止	**雷が鳴り始めたら、安全のため本機および電源コードに触れない**
コンセントから抜く	**万一、内部に異物が入った場合は、電源コードをコンセントから抜く** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店にご連絡ください。	禁止	**表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない** ●火災・感電の原因となります。
分解禁止	**本機を分分解、修理、改造しない** ●火災・感電の原因となります。	禁止	**本機や電源コードの上に重いものをのせたり、コードの上に本機をのせない** ●コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
禁止	**海外では使用しない。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない** ●火災の原因となります。 ●この機器を使えるのは日本国内のみです。	禁止	**電源コードを敷物などで覆わない** ●気づかず重いものをのせてしまい、火災・感電の原因となります。
修理を依頼	**電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、使用を中止する** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●修理をご依頼ください。	禁止	**電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない** ●コードが破損して火災・感電の原因となります。
		禁止	**浴室、台所など湿気の多い場所や水飛沫のある場所では使わない** ●感電や故障の原因となります。

⚠ 注意

禁止	**ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない** ●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。	禁止	**ほこりの多い場所に置かない** ●火災・感電の原因となることがあります。
禁止	**電源コードを熱器具に近づけない** ●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。	濡れ手禁止	**濡れた手で電源コードを抜き差ししない** ●感電の原因となることがあります。
禁止	**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない** ●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。	禁止	**電源コードを抜くときは、コードを引っ張らない** ●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ●必ずプラグ部を持って抜いてください。

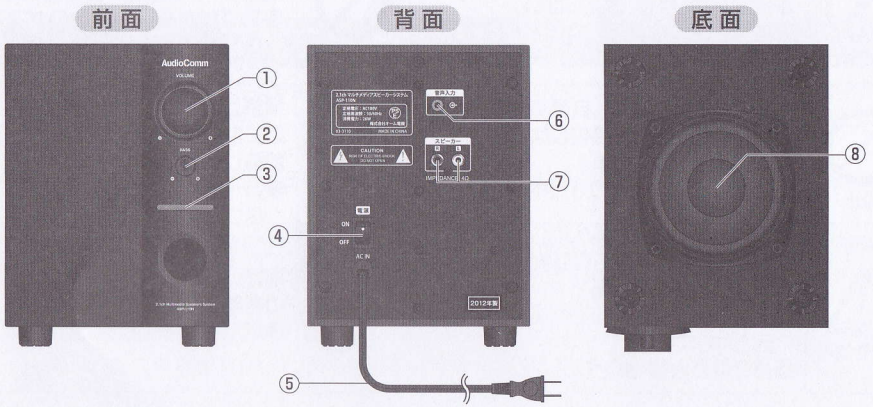
次ページに続く

⚠注意

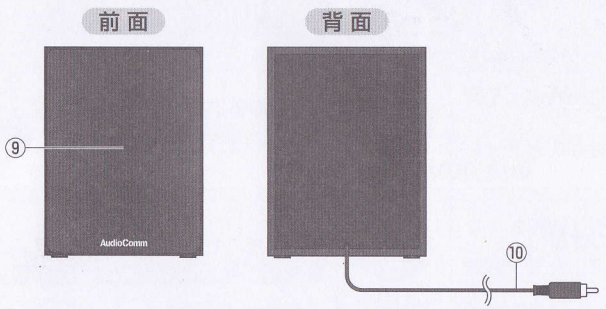
コンセントから抜く	**お手入れの際には安全のため電源コードをコンセントから抜く** ●感電の原因となることがあります。	コンセントから抜く	**旅行などで長時間本機を使わないときは、必ず電源コードをコンセントから抜き、乾電池も取り外す** ●火災・液もれの原因となることがあります。
コンセントから抜く	**移動させるときは、必ず電源コードをコンセントから抜く** ●コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。	音量は小さく	**電源を入れた後、接続機器の音楽等を再生する前には、音量を抑える** ●突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

各部の名称

アンプ内蔵サブウーファー



サテライトスピーカー



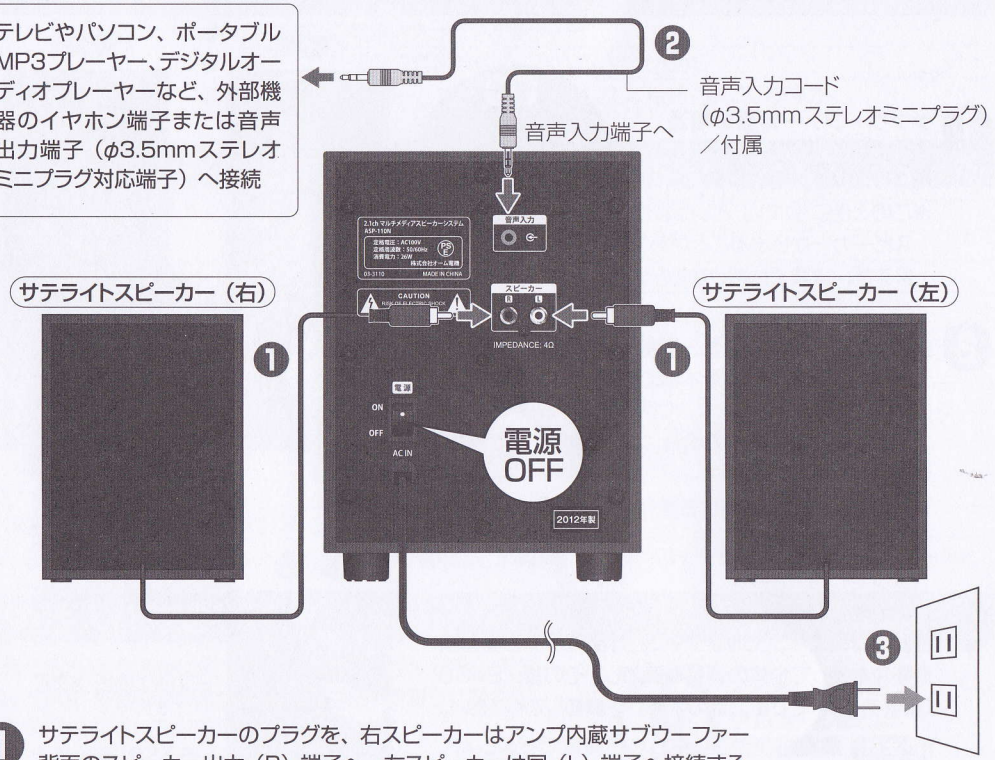
2つのサテライトスピーカーは同じですので左右どちらでも任意にお使いいただけます。

①VOLUMEツマミ
②BASS（重低音）ツマミ
③電源ランプ
④電源スイッチ
⑤電源コード
⑥音声入力端子
⑦スピーカー出力端子
⑧ウーファー
⑨スピーカー
⑩スピーカーコード

接続・設置のしかた

ご注意 外部機器および本機の電源が切れた状態で各コードを接続してください。

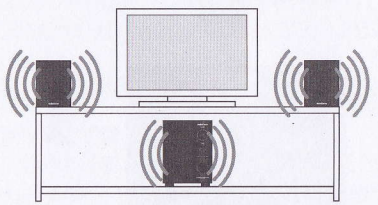
テレビやパソコン、ポータブルMP3プレーヤー、デジタルオーディオプレーヤーなど、外部機器のイヤホン端子または音声出力端子（φ3.5mmステレオミニプラグ対応端子）へ接続



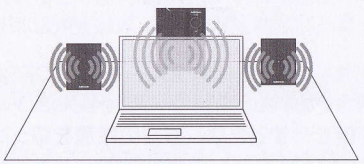
❶ サテライトスピーカーのプラグを、右スピーカーはアンプ内蔵サブウーファー背面のスピーカー出力（R）端子へ、左スピーカーは同（L）端子へ接続する

❷ 付属の音声入力コード（φ3.5mmステレオミニプラグ）を使って、外部機器のイヤホン端子または音声出力端子（φ3.5mmステレオミニプラグ対応端子）とアンプ内蔵サブウーファー背面の音声入力端子を接続する

❸ 最後に電源コードのプラグを家庭用コンセントに接続する



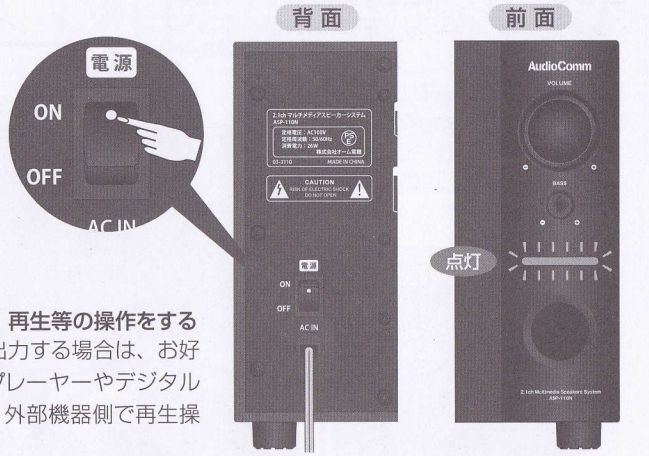
【テレビの場合のセッティング例】
正面にサブウーファーを置き、そこから左右等距離の位置にサテライトスピーカーを設置すると、バランスのよい2.1chサウンドをお楽しみいただけます。



【ノートパソコンの場合のセッティング例】
パソコンの背後にサブウーファーを置き、パソコンの両側等距離にサテライトスピーカーを設置すると、バランスのよい2.1chサウンドをお楽しみいただけます。

操作のしかた

ご注意 電源を入れる前に、本機および外部機器の音量を小さくしてください。突然大きな音が出て、聴覚に悪い影響を及ぼすことがあります。



1 サブウーファー背面の電源スイッチを「ON」にする

電源ランプが点灯します。

※このときに「ボツ」という音がスピーカーから出ることがありますが、故障ではありません。

2 外部機器側の電源を入れ、選局、再生等の操作をする

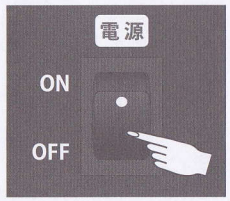
テレビやラジオの音声を本機で出力する場合は、お好きな放送局を選局します。CDプレーヤーやデジタルオーディオプレーヤーの場合は、外部機器側で再生操作をします。

※外部機器の操作方法は各機器に付属の取扱説明書をご確認ください。

3 音量や重低音を調節する

最初に本機のVOLUMEツマミと外部機器側の音量調節機能を使って全体の音量を調節し、その後、BASS(重低音)ツマミで重低音の大きさを調節してください。

ご注意
- ●周囲の迷惑にならない音量でお楽しみください。
- ●音量操作は優先的に本機のVOLUMEツマミで行ってください。特に外部機器のイヤホンジャックに接続している場合、接続を解除したときに外部機器側のスピーカー出力が大音量になることがあります。



4 電源を切るときは電源スイッチを「OFF」にする

電源が切れると電源ランプも消灯します。

接続を外すときは、双方の電源を切った後に行ってください。

故障かなと思ったら

症状	チェック項目
電源が入らない	●電源コードが家庭用コンセントに正しく差し込まれていますか。
音が出ない	●外部機器は正しく接続されていますか。
	●外部機器側の電源は入っていますか。
	●本機や外部機器側の音量が最小になっていませんか。
	●サテライトスピーカーとサブウーファーは正しく接続されていますか。

主な仕様

電源	AC 100V 50／60Hz
消費電力	26W
最大出力	総合10W（サブウーファー：5W　サテライトスピーカー：2.5W×2）
周波数特性	35Hz～20kHz
スピーカー	◎サブウーファー：口径101mm　8Ω　◎サテライトスピーカー：口径76mm　4Ω×2
SN比	>75dB
接続	スピーカー：RCA端子　外部機器：φ3.5mmステレオミニプラグ端子
外形寸法	◎アンプ内蔵サブウーファー　幅150mm×高さ205mm×奥行216mm（突起物含まず）
	◎サテライトスピーカー　幅95mm×高さ127mm×奥行108mm（突起物含まず）
質量	約2.3kg
付属品	取扱説明書（保証書付）、音声入力コード（φ3.5mmステレオミニプラグ）

※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。　※取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

お手入れ方法

本体の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いた後、から拭きしてください。

シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、絶対に使用しないでください。

シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しない

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容および「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。